

第 208 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2009 年 12 月 11 日(金) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 幸地 省子 氏 (東北大学病院附属歯科医療センター顎口腔機能治療部・准教授)

タイトル: **口唇裂・口蓋裂治療 -咬合管理を中心に-**

口唇裂・口蓋裂治療の特色は、

1. 治療目標が複数である
2. 多くの専門家が係わる集学的治療である
3. 段階的治療である
4. 成長発育期全般にわたる長期医療管理である

の4つにまとめられます。治療の根本は、口唇裂と口蓋裂に対する初回手術および顎裂骨移植術です。特に口唇裂と口蓋裂の根治手術が成長発育の旺盛な乳幼児期に行われるため、手術結果如何が以後の医療管理のありようを規定するといっても過言ではないでしょう。そして成長発育期にある患児の QOL を左右します。

東北大学病院においては、初回手術目的で形成外科に紹介された時点から顎口腔機能治療部での咬合管理を開始します。哺乳指導、離乳指導も、咬合発育の観点から個々の環境に応じて行います。というのも乳歯咬合形成期は顎発育が大きい時期であり、萌出した乳歯を使って咀嚼を学習する咬合形成に大切な時期と捉えているからです。

東北大学病院で行われている口唇裂・口蓋裂の治療管理を紹介するとともに、顎裂骨移植術を行って永久歯咬合形成した長期管理例を提示したいと思います。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 山田 一 尋